

会議要旨

会議の名称	令和5年度 第1回おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議	
日時	令和5年9月26日（火曜日）14時00分から 15時55分まで	
場所	おいらせ町役場本庁舎 庁議室	
出席者等	委員	<p>【出席者】（7人）</p> <p>平井 太郎（会長）、柏崎 尚久、高田 雅史、中村 綱吉、 佐々木 秀智、佐々木 寿子、遠藤 剛</p> <p>【欠席者】（4人）</p> <p>中嶋 真理子（副会長）、杉山 智明、森 美穂、志村 博</p>
	事務局	<p>政策推進課</p> <p>課長 柏崎 勝徳、課長補佐 川原 真栄子、主任主査 馬場 祐二</p>
傍聴者数	0名	

1. 開会
※事務局の進行で開会。（14：00）

2. 委嘱状交付
成田町長より交付。

3. 町長あいさつ	
発言者	発言内容
成田町長	<p>おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の委員を引き受けてくださりありがとうございました。初めて委員になる方、また昨年度から引き続き委員となる方、様々な部分でお世話になるかと思っておりますので、よろしく申し上げます。わが町は、給食費や中学生までの医療費の無料化等の事業を実施しており、これから議会の同意を得て、高校生までの医療費の無料化にも取り組む予定です。そのような努力の結果が町の人口の維持につながっていると思っております。また青森県内の住みこちランキングでもおいらせ町はいつも1、2番の状況にあり、大変良い傾向にありますので、新しく住んでくださる方、生まれてくる子どもたちのために、町の経営にも力を入れていかないとはいけません。</p>

成田町長	現在の町の財政状況は、基金の積み立てもできており、良い状態にあります。この状態だと、しばらく安心できるのかなと思います。また、おいらせ都市計画も施行され、今まで住宅が建てることができなかった場所にも、日々新築住宅が建っておりますし、また新しい企業や小売店も進出しております。そういったことから、私は、おいらせ町はまだまだ発展できる力のある町だと感じています。これから、新庁舎の建設やおいらせ病院の移転が始まります。まちづくりの大変重要な部分を皆さまに相談していかなければならないと思いますので、おいらせ町の今以上の発展に何とかご協力くださるよう、よろしく願いいたします。
------	---

4. 案件	
(1) 会長・副会長の選任について	
案件に入る前に、出席者の自己紹介を行った。	
発言者	発言内容
事務局	案件に入ります。会議資料の2ページをご覧ください。会長が決まるまでの進行は町長が行います。
成田町長	会長、副会長は委員からの互選となっております。今回は初対面ということで、事務局（案）を確認してはいかがでしょうか。
委員一同	異議なし
成田町長	ありがとうございます。では事務局（案）をお願いします。
事務局	本会議は、ファシリテーターを兼ねて、これまで学識経験を有する方が会長を歴任していました。今回も会長には、学識経験を有する方として弘前大学大学院の平井太郎教授を事務局（案）として提示します。
成田町長	事務局（案）が提示されました。弘前大学大学院の平井教授に会長をお願いすることでよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし
成田町長	平井教授、よろしく申し上げます。
事務局	ここで、成田町長は公務のため、退席させていただきます。ここからの進行は、平井会長をお願いします。
平井会長	皆さん、よろしく申し上げます。では副会長の選任に入ります。どなたか立候補はありませんか。
委員一同	なし
平井会長	ないようなので、事務局（案）をお願いします。
事務局	副会長としては、まち・ひと・しごと創生総合戦略の「しごと」に関わる三沢公共職業安定所の中嶋所長を事務局（案）として提示します。
平井会長	私の方からも、ぜひ副会長には中嶋所長をお願いしたいと思っていました。皆さん、いかがでしょうか。
委員一同	異議なし
平井会長	副会長には中嶋所長を選任します。

(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略について	
発言者	発言内容
事務局	<案件(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略について、会議資料3ページを説明>
平井会長	<p>まずはディスカッションをしたいと思います。その前に自己紹介をしますが、私の専門は社会学です。地域の皆さんと一緒に望ましい社会がどうやってできるか、ということを考えています。青森県40市町村、東北6県、新潟、兵庫、高知、大分、そして中国などをまわっていた時に、大前提として、この「まち・ひと・しごと」は何かということをよく聞かれます。これは地域社会学の中で、地域が衰退している、地方が衰退している原因が主に3つあることと関係しています。まずは、一番に人がいなくなってしまう過疎、次に土地と呼んでいます。地域にとって大事なものは、豊かな自然、その自然の恵みを活かして様々な生業(産業)を組み立てていたはずなのですが、耕作放棄地のように、とにかく日本は資源の管理がうまくできず、やせ細ってしまっている地域が増えています。最後に国が進めた市町村合併がありまして、合併して十数年後、人口を維持した地域もあれば、大幅に減少した地域もあります。その中でも、吸収合併されてしまった感のある地域は、人が出て行ってしまったり、自然資源がやせ細ってしまったりしているように思えます。そして、みんなで話し合い、「こうしたらいいよ」という自治が失われています。人と自然と自治を何とかしなくてはいけないということで、自治が「まち」、過疎が「ひと」、そして自然資源だけではなく、どうやって暮らしを成り立たせていくかということで「しごと」と名前がついています。これを行政でバラバラにやっけてしまいがちですが、国としては横串をさす、総合的にやっけてほしいということで、まち・ひと・しごと創生ができました。最後に事務局から、女性が東京に集まっているという指摘がありました。東京の中でも湾岸部とか都心部に女性がどんどん集まっているようです。その原因として、2つほど言われていることがあります。今日皆さんと共有したいことは、まち・ひと・しごとに横串をさすという意味で、女性が本当にやりがいのある仕事に就いているのでしょうか。地域の中で女性が未だにお茶くみなどをさせられていませんか。例えば、地方移住の人気がある地域では、女性が男性と対等であったり、嫁姑問題が少なかったりといろいろな要因があるようです。男尊女卑が未だに激しい地域では、会議でも女性が全然発言しない場合が多いです。つがる市では、女性に活躍してもらおうと、建設会社の社長さんが、ドローンを動かして、水稻の防除を請け負う女性だけの会社を立ち上げました。非常に人気があるようです。また東京からCADができる女性が移住相談にきた時に、そのことを地元の建設会社に相談したら、一日で就職が決まったということがありました。デジタルという新しい視点が出てきた中で、女性が活躍できる仕事をつくることで、人の流れも変わるのではないのでしょうか。皆さんからの素朴なアイデアを活かしていくことが、このまち・ひと・しごと創生の場であると思います。先ほど自己紹介の中で、委員からひとり親の話題がありましたので、確認してみたいです。</p>

委員	<p>私が勤める会社で管理しているおいらせ町内の物件は、500件ぐらいあります。その中で統計を取ると、常に21～22%がシングルファザー、シングルマザーであります。年齢が30代以上であれば問題ないのですが、例えば20代前半で、3人以上の子どもがいるシングルマザーが賃貸を借りても、家賃の支払いが遅れてしまう場合が多いです。その理由を聞くと、子どもが病気がちでパートを休まなくてはならず、収入が減っているというのが原因でした。今の若い世代は、親、親族を頼らない、SOSを発信しない、自分の中で何とか処理をしようする方が多いようです。賃貸を管理している仕事をしていると、そういった相談を受けることが多いです。相談に来た方の中には、シングル世帯に関わらず、DVの相談を受けることもあります。本来であれば不動産会社に相談に来るべきものではないのですが、「自分は地元出身じゃないので助けてください」と来ることがあります。私達も何とかしたいと思い、町に連絡をして、保健師さんと連携し、相談窓口を紹介したこともあります。その時に、なぜおいらせ町には、女性センターや一時的に避難する場所がないのかなと思いました。八戸市のセンターにも空きがなく、その方は、1週間以上、乳飲み子を連れて、車上生活をしたようです。「おいらせ町は子育てに優しいまちだと思って転入したのに、全然子どもに優しくない」という声を聞くと、他に何か力になれなかったのかなと思います。その思いから現在、町内にある焼肉店の社長さんと協力し、おいらせ子ども食堂という、子どもに無料で食事を提供する事業を展開しています。でも、私達の目的は、子どもに食事を提供することではなく、子どもの顔とか、両親の顔を見て、異変があれば、声をかけて相談を受けたり、役場につないだりしています。その中でも、特に20代前半のシングル世帯が本当に大変だと思います。</p>
平井会長	<p>国全体としては、地域共生社会という、小さい多様なお困りごとに耳を傾け、最終的には自立するところまで、丁寧に伴走支援するものがあります。例えば、仕事等の産業界からの支援、教育的な支援もできるかと思うので、ぜひ今のお話で、何か関わることがありましたら、アイデアをいただきたいと思います。他に何かありませんか。</p>
委員	<p>役場と病院が移転しますが、町の人たちが何に不満をもっているのかを聞き取り調査を行ったところ、主に3つのことがあげられました。1つ目は医療です。特に小児科と心療内科が少ないと感じています。心療内科が少ないことが、おいらせ町の自殺者が多い原因にもなっているのではないかと思います。2つ目は交通です。町内にバスがありますが、どのバスもバラバラに来ているため、連携する必要があると思います。無人運転や、まさにデジタルの力を活用できないかも検討しなくてはなりません。3つ目は市町村合併です。いまだに旧下田町地区、旧百石町地区、そして移住者の多い三沢市寄りの北部地区、これらが3つの塊になっています。例えば、今はまさにお祭りのシーズンですが、まず百石まつりを開催して、その1週間後に下田まつりを開催しています。しかし、百石まつりに来ていた人が下田まつりに行くことは少ないとのことです。下田まつりも同様です。どちらも神社が関わる祭りなので、事情があることはよく分かりますが、人が減っていく中で苦勞されてお祭りをしているように思えます。もうおいらせ町なので、その枠を飛び越えて、町として一体感を出さないといけないように思えます。</p>

平井会長	<p>ぜひ行政の皆さんも一緒に考えていただきたいのですが、医療って一口にいっても、誰に対する医療が求められているのかによって、手の打ち方が変わってくるため、総合的にやっても、逆に満足度が下がってしまうところがあります。例えば、保育がすごく充実している市でも、病児保育等を預かるところが少ないということもあります。青森県の風土病ともいえる心療内科は、大学にも責任があるのですが、力を入れていかななくてはならない分野です。公共交通の件では、他県で無人バスを導入している市町村もあります。現在の日本の法律では、無人運転でも監視役として人が乗らなくてはならないのですが、監視役は大型免許が不要なので、ある程度の IT の知識さえあれば、若い方や女性でも監視役ができるのではないかと思います。おいらせ町もデマンド型のおいらバスを導入しているので、公共交通は良い方向に進んでいるように感じます。青森県に来て、一番驚いたのはねぶたというお祭りがあることです。神社とは関係のない祭りなので、参加型の祭りです。弘前市の場合も、市町村合併をした旧村のところがすごい力が入っています。あまり宗教色のない祭りがあると、町のコアになるのかなと感じます。</p>
事務局	<p>補足しますが、これまでおいらせ病院の小児科は、週 1 回の診療でしたが、9 月から常勤の小児科の医師が勤務することになり、現在は毎日（平日）診療できるようになりました。今後も PR していきたいです。心療内科は、なかなか医師の確保が難しいこともあり、町内では民間の病院が 1 か所のみとなっています。</p>
平井会長	<p>そういった形でピンポイントに政策を磨き上げ、積み上げていくことが大事だと思います。あとは人手不足について何かありませんか。</p>
委員	<p>子どもが少ない時代なので、建設業を含めどの職種でも、新しい人たちを入社させるのに苦労しています。学校も 1 クラス 35 人くらいと少ないです。建設協会では地元の会社に入ってほしいということで、工業高校や農業高校に行って説明をするのですが、今の実態は 10 人前後の生徒が公務員か大学志望、地元に残りたい生徒が 10 人くらい、残りの生徒が首都圏の有名な企業の求人に応募しています。建設業は地方だと主たる産業ですが、他の業種は絶対的に働く場が少ないと感じます。町でいろいろな施策や百石工業団地等がありますが、一つの考え方として、企業の誘致も大きな方策になるのではないかと思います。時々 U ターン希望者と面接しますが、首都圏で経験を積んだ方は優秀で技能も高く、採用したいのですが、給料面でお互いに折り合いがつかないことがあります。</p>
平井会長	<p>有効求人倍率は、地方よりも実は神奈川県の方が低く、都心部といっても、仕事がない状況です。地方は仕事があるけど、就きたい仕事がない、給与水準が合わないなどの意見が多いのではないのでしょうか。生産性を上げていくのか、付加価値をつけていくのか、事業者で既にやっていると思いますが、頑張りたいです。女性が活躍するために自分で稼がなくてはならなくなった時、日本だと過去に女性が農村加工グループ等の団体を作り、お財布を自分たちで持つということをやっていました。現在インドや中国、アフリカ等の海外の女性たちは、IT 関係の仕事の世界中から請け負って稼いでいます。その事例を参考に青森県庁に相談したところ、西北地域県民局で IT スキルを身に付けたい女性たちのための講座を開催しました。</p>

平井会長	その講座を受けた方の中には、半年で仕事を受けられるようになった方もいたようです。今の日本の若い方は、パソコンを持たずにスマートフォンを持っています。学生たちもレポートをスマートフォンで作成しています。それはそれですごいのですが、IT関連の仕事はパソコンを買わないと始まらないので、5万円で中古のパソコンを買ったら、その分を取り戻すために頑張ろうみたいな、きっかけ作りから始めてもいいのではないのでしょうか。従来の例えば製造ラインで働く仕事だけではなく、IT系の仕事の創出も考えていただきたいと思いました。
------	--

(3) 昨年度の活動（これまでの経緯）について	
発言者	発言内容
事務局	< (3) 昨年度の活動（これまでの経緯）について、会議資料4～8ページを説明 >
平井会長	今の説明で補足や感想、助言等がありましたら、お願いします。
委員	昨年度の総合戦略会議での主な意見として、おいらせ町に人口が増えている理由に市に囲まれている、地価が安い等が挙げられました。これだけ人が集まるのは良いのですが、おいらせ町にどのような効果が出ているのか、例えば地価が安くておいらせ町に住んでも、職場は三沢市や八戸市だと昼間はいない、そうなるとお金を落とすのはおいらせ町以外となる場合も多いのではないのでしょうか。会議にも通じますが、求人を含めて町全体の魅力や長所をアピールするために、何をするか、そこを深掘りする必要があるのではないのでしょうか。
平井会長	財政部分について、ある地域からお話を聞いたのですが、地方交付税は人口割で配られているとのことでしたので、考えれば先行的に産業投資をしても良いのではと思いました。とにかくこのまち・ひと・しごとで最初に来るのが、人口ビジョンです。人が人を呼ぶ循環が生まれることで、何か楽しそうに思え、人が集まってくるようです。先ほどご意見のありました、町の3つの地区がバラバラになっているということで、町民が何か一体感を持てるようなことがあれば、孤立しているシングル世帯の仲間づくりのきっかけや息抜きになるのかなと思います。そういう視点も頭の片隅に置いていただけると、この会議との関連も出てくると思います。

(4) おいらせラボ（仮称）の開催について	
発言者	発言内容
事務局	< (4) おいらせラボ（仮称）の開催について、会議資料9ページを説明 >
平井会長	おいらせラボの部員になる方を募集します。自薦でも良いです。今日は皆さんが色々と独自で調査していることに驚きました。そういった知見を、ぜひおいらせラボで教えてもらいたいです。国家戦略の中には生物多様性や保全のこともあります。その辺について、何か意見はありませんか。

委員	<p>実は省エネ法等のエネルギー関係の法律がものすごく変わってきています。特に製造業等は、どのようなエネルギーを使っているかは守秘義務でした。公開すると自分の商売がばれてしまうので、それを隠していました。例えば、太陽光エネルギーであったり、廃熱エネルギーであったり、今はあえて開示することで、ESG投資を集めることができます。そういった公開している事業者のエネルギーを繋ぎ合わせるのがすごく重要になってきます。特に自然や環境のエネルギーは、実は一社でやっても何にもメリットがないのです。行政拠点や病院と事業者が連携して、さらに防災や脱炭素の観点からも、それを十分担う設備や施設との複合を考えていかなければならないと思います。</p>
平井会長	<p>病院と役場は、ゼロエネルギーの建物を目指していただきたいと思います。岩手県の紫波町は、役場、図書館、産直施設、ホテル、運動場、住宅地が一体的に整備されています。エネルギーには、太陽光を使っているようです。せっかく役場や病院を作るなら、おいらせライフみたいなことを実現、提供してもいいのかなと思います。地球環境的には待ったなしの話でもあるので、デジタル田園都市国家構想的にも考えていきたいです。</p>
委員	<p>先ほど地域が一体になれるという話がありましたが、お祭りだけではなく、地域の環境や自然の素晴らしさでも良いと思います。特に下田公園、いちよう公園は、国際会議をできるぐらいの白鳥や野鳥が集まっています。そういう地域の自然を知り、大切にすることが誇りとなり、地域を愛する力となるのではないのでしょうか。単純に今までの積み重ねを少しリセットして、組み換えをすることで、いろんなことができると思います。公園、脱炭素、自然共生辺りは、ぜひ片隅でも良いので検討していただければと思います。</p>
平井会長	<p>昨年検討した新規事業Cの中には、下田公園に関連した事業があります。自然共生的な魅力はすごくあると思いますので、この辺りを参考にブラッシュアップしていただきたいと思いました。</p>
委員	<p>今の意見については、全くその通りです。もっとやらなきゃならないことだと思っていますし、そういうことを考えている町民もたくさんいるようです。以前は鮭まつりがありましたが、鮭が来なくなり、中止となりました。米軍基地とも交流があり、それは賑やかなまつりだったらしいです。それに代わり、森の感謝祭というイベントが今年から行われています。SDGsを切り口に、たくさんの団体が参加し、野鳥観察やウッドアートなどを行い、町長からも良い評価をいただいております。それをまたゼロから作ると大変ですから、そういったものに積み重ねるような提案をしていくと、より効果的な形になっていくのかなと思いました。</p>
平井会長	<p>非常に可能性のある意見をありがとうございます。最後に全体を見渡しての意見はありませんか。</p>

委員	<p>村の語源は「群れ」、人が群れることだと聞いた気がします。この町もいろんな人が集まってきて、いろんな考えがあることが、私は健全だと思います。賛成、反対、こういうことしたい等いろんな意見が自由に言えるのは、すごく大事だと思います。その群れが最近群れていないような気がします。町内会一つとっても、以前は普通にみんなが参加していた道路掃除や集落の集会にも集まらなくなり、さらにコロナが追い打ちをかけて、集まらなくても良い社会ができてしまっているような気がします。このままいくと、食料を作る農業はなくなりますが、農家がなくなり、農村がなくなると思います。私はこの地域は、まだまだ農村だと思っていますので、そこに何かメスを入れていかなければならないと思います。行政が本当に手堅くやってくれているのに、行政批判をする人がいます。でもそんなことを言っている場合ではなく、1人1人が自立し、行政に頼らなくても良い集落づくり、まちづくりをしていかななくてはならないと思います。行政にお願いするとすれば、そういう何か仕掛けようとしている人たちがいたら、支援してほしいです。ある意味一種の起業だと思いますので、遊び心を持った人たちの後押しをしてくれる体制があればいいのかなと思います。祭りの話とか森の話も先ほど言っていましたけれど、行政以外の人も応援できる体制があればいいのかなと思っております。人づくりと簡単に言いますが、私は人はつくれないと思います。人は様々な経験の中で自分で育つものだと思います。逆を言えば、このように育てましようとか、こういうふうにしましようとか、決めつけるのは多分駄目だと思います。子どもたちの可能性を潰すかも知れません。以前国の仕事で海外に派遣された際、その国の当時の大統領は、国づくりは、人づくりと農業。人づくりというのは、意識的に上からつくるのではなく、自立できるような国民を育てるために、そういう教育ができるように講義をしてほしいとのことでした。大学の事務局とか教育学部の先生たちに日本の教育制度を話し、人を育てるといことは長いスパンで考えないといけないというようなことを話した経験があります。次に農業や農村集落にも力を入れます。それが1段落すると、今度は経済を回していかなければならないし、経済が回るとまた個人中心で生活するようになります。時代はどんどん変わります。変わっていく社会や時代に合わせた仕掛けとか、かつてを大切にしながら新たな取り組みをしていくことが大事だと思います。みんなで話し合っ、知恵を出し合いながら進んでいくことが一番良いのかなと思います。</p>
平井会長	<p>青森県に来てから12年間、県の農林水産部の仕事に携わっていました。日本全国、農業栄えて農村減ぶという言葉があります。これは規模拡大のために機械化が進むと、人がいらなくなり、農村に人が住まなくなるという状況になってしまうという意味です。それじゃまずいだろうと、一方では攻めの農林水産業やりながらも、守りの部分もしっかりやっていくことで、覚書をいただきました。県内の市町村でも、非常に面白い取り組みをしている集落もあります。おいらせ町も根菜類等の農家も多いと思うので、農家や農村に住んでいる人たちの声を聞きながら、面白いことができたらいいなと思います。ぜひこれからも思いついたことがあれば、お話いただければと思います。</p>

平井会長	では、おいらセラボに関しましては、欠席の方もいらっしゃると思いますが、いろんなところで見聞きしたことあるいは自分がちょっと調べていることを共有し合い、おいらせ町の未来について一緒に考えて実践していきましょう。提案としては、例えばフィールドワーク的なこともいいかなと思います。特に下田公園やいちょう公園は一度見てみたいです。会議室だけじゃなくて、現場で何かできる体制があったら嬉しいなと思います。
事務局	おいらセラボのメンバーはどうしますか。
平井会長	1週間くらいの時間をいただいて、立候補を募ってはどのようにでしょうか。
事務局	11月においらセラボを開催する予定でしたので、立候補者は10月6日頃までに、事務局にご連絡いただきたいと思います。欠席の方にも連絡します。
平井会長	皆さんどうでしょうか。
委員一同	異議なし

(5) 今後のスケジュール	
発言者	発言内容
事務局	<(5) 今後のスケジュールについて、会議資料9ページを説明>
平井会長	質問等はありませんか。
委員一同	なし

5. その他	
発言者	発言内容
平井会長	その他、何かありませんか。
委員一同	なし
平井会長	最後にこの会議で1つでも実現するとすごく励みになります。そういった形になることを目標にフィードバックもしていただきたいです。事務局には、ご負担をおかけすると思うのですが、よろしくお願いします。皆さん、本日はご協力ありがとうございました。

6. 閉会	
※閉会する。(15:55)	